



新座中だより

令和3年度3月号



〒352-0011 埼玉県新座市野火止二丁目4番1号
電話(048)478-3668 FAX(048)482-0131
新座市立新座中学校

学校教育目標

強く 明るく 考える

や っ て み せ

校長 高橋 利明

やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、
ほめてやらねば、人は動かじ。

話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらね
ば、人は育たず。

やっている、姿を感謝で見守って、信頼せね
ば、人は実らず。

「人材育成」というテーマで、よく耳にする
のが、この「やってみせ、言って聞かせて、さ
せてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ。」だ
と思います。 第二次大戦中、日本海軍の連合艦
隊司令長官 山本五十六の名言であるこの「や
ってみせ」ですが、これは山本五十六が何かの
場面で口にした言葉ではなく、江戸時代中期、
米沢藩第9代藩主の上杉鷹山（うえすぎ よ
うざん）の名言「してみせて、言って聞かせて、
させてみる」を山本五十六が人生訓にしており、
好んで手紙や色紙に書いていたのだと言われ
ています。

多くの人が知っているこの名言「やってみ
せ」。子どもに限らずとも人を教育するには、た
だ口頭で指示を出せば良いというものではな
く、自身が動いて見本をやってみせ、そしてそ
れを实践させなければ人は成長しません。もち
ろん教わる側の人間は、こちらが見本をやっ
てみせて、それを更にかみ砕いて説明したところ
で最初からうまく、その通りにできることの方
が稀でしょう。しかしここで完璧に出来なかつ

たことを頭ごなしに叱るのではなく、一つでも
できたところを見つけて褒めることが大切だ
と思います。

しかし、子どもの教育ならばまだしも、例え
ば会社の新人教育といった大人同士の場面に
なると、この「ほめる」という行動はおろそか
になりがちです。ですが何も「よくやった」「偉
い」とむやみやたらに相手を称賛するだけが褒
めることではありません。褒めることはすなわ
ち相手を認めることであり、「それでいい」「間
違ってない」「きちんと出来ている」と言うこ
とをしっかりと相手に伝えることが重要な
のではないのでしょうか。

自分のしたことが認められ、これでいい、間
違ってないと確信を持てたのなら、人は、
自尊心が満たされ、自信をもって次のステップ
に踏み出せます。人を教育し、成長させるため
には双方の信頼関係と教える相手への尊重が
重要であり、それらを怠れば人は本当の意味で
“成長” はしないのではないのでしょうか。

人を真の意味で“成長” させるためには、教
育する側も責任を持って取り組まなければな
りません。自らが見本をやってみせ、言って聞
かせる、そしてそれを相手にさせてみて褒める。
そこに信頼関係と尊重がなければ人は決して
動かないでしょう。何とも為になる、奥の深い
名言です。

「凡事徹底」

「自他共栄」

「文武両道」